

平成 8 年度 発掘 調査 件数

(平成 8 年 4 月～ 9 年 3 月)

	県 北	県 中	県 南	会 津	南 会 津	相 双	い わ き	計
農 業 関 係 (国・県・団体)		6	3	15		9		33
都 市 計 画 等	3	5	5		3	1	3	20
道 路 建 設	6	17	3	4	3	35	14	82
河 川 ・ ダ ム ・ 空 港	6							6
宅 地 造 成 等	17	14	3	1		4		39
学 校 建 設	1	1		1		1		4
そ の 他 の 建 物	7	4	1	1		1		14
電 気 ・ ガ ス ・ 水 道		1				2		3
ゴ ル フ 場 ・ 土 取 り				1				1
そ の 他	12	13	4	6	1	13		49
学 術 調 査	1					1		2
計	53	61	19	29	7	67	17	253

発掘調査件数253件の内訳は、県教育委員会が実施したものの14件、市町村教育委員会が実施したものの92件です。
なお、事前協議のための試掘調査は、146件です。

(5) 県内の発掘調査等の状況

発掘調査（試掘調査を含む）の原因別・地区別の通知等の件数は上表のとおりである。

原因では、道路建設・都市計画の区画整理を含む宅地造成・農地開発に関連する土木工事によるものが上位を占める。

また、近年の傾向は大規模開発が増加することにより、工法対応による部分調査で対応し切れずに、全面調査となる遺跡が多く、その結果1遺跡あたりの調査面積が広がってきている。開発件数の増加に加え、面積の拡大もあって、全体として発掘調査量は膨大なものとなっている。

(6) 文化財センター（仮称）整備事業

埋蔵文化財等の調査・研究、収蔵・保管、公開・活用及び埋蔵文化財担当職員の研修の拠点となる文化財センター（仮称）を、白河市及び安達町に設置予定であるが、平成8年度は、白河館（仮称）の基本計画の作成等を行った。